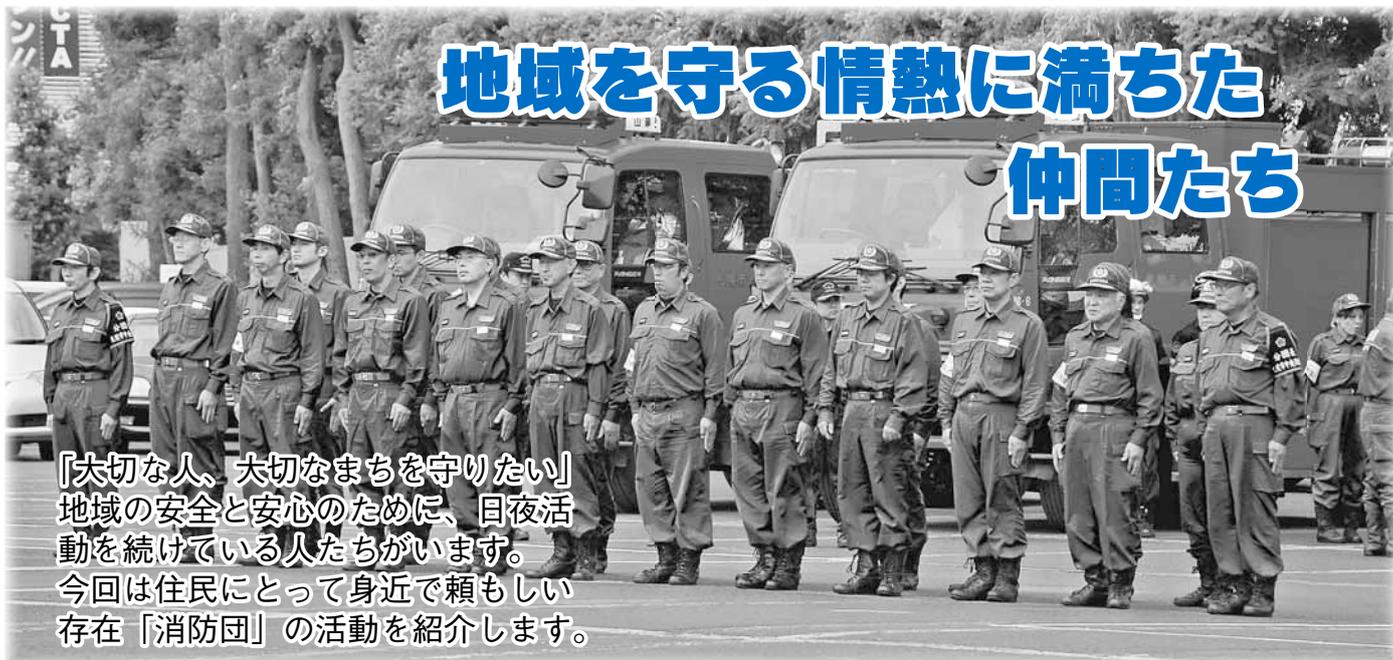


地域を守る情熱に満ちた 仲間たち



「大切な人、大切なまちを守りたい」
地域の安全と安心のために、日夜活
動を続けている人たちがいます。
今回は住民にとって身近で頼もしい
存在「消防団」の活動を紹介します。

地域防災のリーダー 消防団

■消防団ってなあに？

消防団は、火災をはじめとした災害発生時における消火活動や救助・救出活動などを行う非常備の消防機関です。消防団員の多くは普段本業の仕事を持っていますが、災害が発生すると消防署と協力して、その防ぎよ活動に当たります。現在の中央消防団は、13の分団、242人の消防団員で構成されています。



▲防災訓練での地域住民との消防リレー

■普段はどんな活動をしているの？

災害時の消火、救助活動のほか、災害を起こさないための防火・減災啓発活動、あらゆる事態を想定した訓練などを行っています。定期的に関催されている地域の防災訓練にも参加し、応急手当ての普及指導や広報活動を行うなど、住民と一体となって、地域の安全を守るための活動をしています。



▲豊平川での小型ポンプ取扱訓練



▲消防総合訓練大会では日ごろの訓練の成果を競います



▲子どもたちはポンプ車の説明に興味津々



▲はしご車搭乗体験

地域での街頭啓発を行っています！

消防団では、地域のイベントや少年消防クラブとの交流の場などで、住民に日ごろの活動内容を紹介するとともに、防災意識の大切さを呼び掛けています。円山動物園での火災予防運動では、札幌市消防局のマスコットキャラクター「リスキュー」も登場し、広く市民へPRしました。



▲円山動物園での街頭啓発



▲防災意識についてのアンケート調査も